

親は子の個性をどれだけ知っているか

無記名の展覧会で実験 ドキュメンタリー公開



RISU Japan 株式会社

2016年2月26日(木)

遠隔個別指導による教育サービスを展開する RISU Japan(文京区)は、1月31日に中野区の小学校跡地で『名前のない展覧会～Anonymous Exhibition～』を開催し、当日参加した20組の家族の様子をドキュメンタリーに収録した記録動画を一般公開しました。<http://RISU-japan.com/oyako/>

『名前のない展覧会』は、子どもが作ったアート作品を、名前がない状態で展示して、保護者が我が子の作品に気付くことが出来るのか、それに子どもはどう反応するのかを実験的に描いたドキュメンタリーです。



実は、父親のほうが、正答率が高かった！？

- 社会変化に伴い、共働きが一般的になっています。しかし、不安を抱える親も少なくありません。その根底には、「子どもと十分な時間が取れていない気がする」という気持ちがあり、その不安は母親よりも父親のほうが高い傾向にあることが調査から分かっています。
- RISU では約20組の小学生低学年の児童と保護者を集め、児童が制作したアート作品を、無記名で展示して、保護者がいいあてられるのか、社会実験を行ないました。
- 保護者は2日目に初めて名前がないことに気付き、作品の個性のみから、自分の子どもの作品を見つけられるか、また、それに各家族がどのような反応をするのか記録に残しました。
- 結果、共働きかどうかと、子どもの作品を言い当てられるかについては関係がなく、むしろ、仕事のため普段は子どもに接する時間が少ないはずの父親のほうが、子供の作品を言い当てられていました。

共働き時代の子どもの理解の鍵は、必ずしもかける時間ではなく、接し方や共感にあるのかもしれませんが。

「共働きは子どもに悪影響」と思う人は4割も占めており

- 「悪影響はないと思う」・・・37%
- 「悪影響があると思う」・・・30%
- 「わからない・その他」・・・33%

子どものために十分時間をとれないと感じている親が多い(母親)

- 「子どもとの接し方に自信が持てない」・・・44%
- 「子どもとの時間が十分とれない」・・・27%

(父親)

- 「子どもとの時間が十分にとれない」・・・70%

【RISU Japan 株式会社 会社概要 / お問い合わせ】

住所 : 東京都文京区本郷 2-25-5 角地ビル 3F 連絡先 : press[アット]risu-japan.com

事業内容 : 教育事業 : TEL 050-5579-7326 加藤

資本金 : 7,000 万円 (資本準備金含む)

従業員数 : 40 名 (パート・アルバイトを含む) (日本) <http://risu-japan.com>

設立日 : 2014 年 7 月 16 日 (米国) <http://myrisu.com/us/>



<http://facebook.com/risujapan>